

大宮駐屯地夏祭りで自衛隊をPR



埼玉地方協力本部は、七月二十日（木）大宮駐屯地で開催された大宮駐屯地夏祭りにおいて、募集広報ブースを開設した。夏祭り会場では、ラップ演奏や盆踊り、打ち上げ花火をはじめ、ミニ新幹線及び模擬売店など様々なイベントが行われ、夏祭りを大いに盛り上げていた。

梅雨明けしたばかりのこの日は、日中の暑さが夕方になっても収まることはなく、来場者数が心配されたが、昨年よりも多い約一三六〇〇名の来場があった。募集広報ブースでは、自衛官募集を案内するとともに、広報用のうちわやシール等を配布し、子供から大人まで人気を博した。

また、来場者には、自衛隊に関心を持っている方々が多く、広報官が自衛隊に関する多くの質問に回答し、自衛隊に対する理解をより深めてもらった。埼玉地本協力本部は、今後も効果的な広報イベントを実施し、積極的に募集基盤の強化につなげていく所存です。

入間基地航空祭で自衛隊をPR



自衛隊埼玉地方協力本部は、十一月三日（金）、航空自衛隊入間基地で開催された入間基地航空祭において募集広報ブースを開設し、多くの来場者に自衛隊の活動をPRした。

雲一つない秋晴れの下行われた航空祭には、ブルーインパルスを始めとした飛行展示や、様々な催し物目当てに押し寄せた、約21万人の来場者で賑わった。

埼玉地本のブースでは、予備自衛官等・募集ポスターモデルとの記念撮影や、グッズが当たるじゃんけん大会等のイベントを行ったほか、自衛隊の制服やブルーインパルスモデルのミニ航空服が試着できるコーナーも開設し、長蛇の列ができていた。

また、広報官は、「採用について詳しく教えてほしい」「自衛隊のパンフレットがほしい」などの募集対象者からの要望等に丁寧に応じ、自衛隊の魅力をPRしていた。

埼玉地本は、今後も効果的な広報イベントを実施し、積極的に募集基盤の強化につなげていく。

東部方面総監、埼玉地本を初度視察



自衛隊埼玉地方協力本部は、十一月九日（木）、東部方面総監住田陸将の部隊視察を受察した。

住田総監は、長谷川本部長等の出迎えを受けた後、幹部挨拶、状況報告、施設巡視、本部長との懇談及び全部員に対し訓示が行われた。

訓示において住田総監は「陸海空自衛隊の人的戦闘力維持のための重要な任務に従事する埼玉地方協力本部の一員であることの使命感と誇りを持ち、長谷川本部長の「誠実、努力、笑顔」の要望事項のもと、各種目標達成に向け心を一つにして邁進することを期待する（抜粋）」と激励された。

埼玉地本は、住田総監の統率方針である「強靱な東部方面隊の創造」と要望事項である「なすべきことをなせ」「信頼されよ」を遂行すべく、決意新たに部員一丸となり、執念を持って任務の達成を目指す。